



③ 解答科目欄

解答する科目を一つ選び、科目の下の○にマークしなさい。マークされていない場合又は複数の科目にマークされている場合は、0点となります。

- 6 解答は、解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10
----

と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号10の解答欄の③にマークしなさい。

(例)

解答番号	解 答 欄
1 0	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

- 7 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。  
8 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 地 理 A

(解答番号  ~ )

第1問 地理の基礎的事項に関する次の問い(問1～8)に答えよ。(配点 16)

問1 地球を平面に表現したものが地図であり、様々な投影法がある。次の図1はシアトルを中心とした正距方位図法で描かれた地図、図2はメルカトル図法で描かれた地図である。図1中のアと図2中のイ、ウについて説明した文として正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

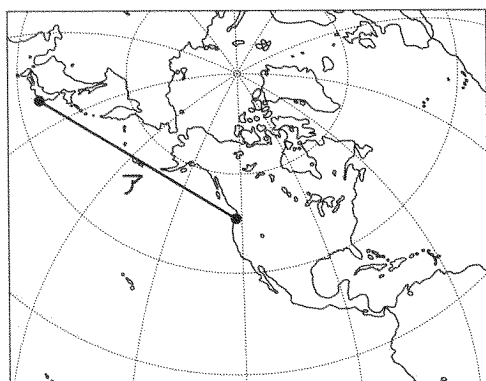


図 1

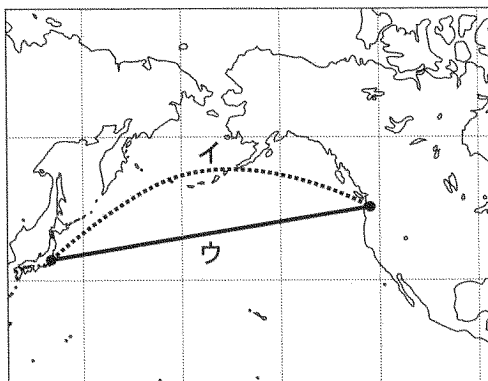


図 2

- ① 図1中のアは2地点間の最短距離を示し、図2中のイが同じ軌跡になる。
- ② 図1中のアは2地点間の最短距離を示し、図2中のウが同じ軌跡になる。
- ③ 図1中のアは2地点間の等角航路を示し、図2中のイが同じ軌跡になる。
- ④ 図1中のアは2地点間の等角航路を示し、図2中のウが同じ軌跡になる。

問 2 次の表 1 は、2005 年 12 月における東京(成田)からホノルルと、東京からバンコクの直行便のフライトスケジュール\*を示したものである。東京・ホノルル間の所要時間と東京・バンコク間の所要時間との正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

\*時間はすべて現地時間で示した。

表 1

フライトスケジュール		日本と現地との時差
東京(成田)発 20:10	→ ホノルル着 7:40(同日)	19時間
東京(成田)発 11:20	→ バンコク着 16:50	2時間

『JTB 時刻表』により作成。

	東京(成田)・ホノルル間	東京(成田)・バンコク間
①	6時間30分	3時間30分
②	6時間30分	7時間30分
③	11時間30分	3時間30分
④	11時間30分	7時間30分

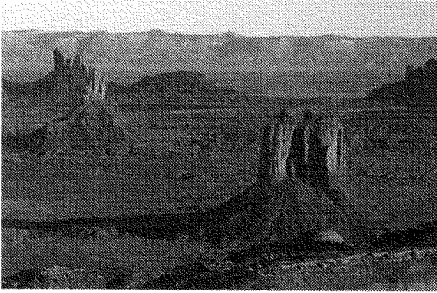
問 3 河川や海の堆積・侵食作用によって様々な地形が形成される。これらの作用によって形成された地形の名称として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- |                              |        |
|------------------------------|--------|
| ① <small>かいしよくがい</small> 海食崖 | ② 砂丘   |
| ③ 三角州(デルタ)                   | ④ 自然堤防 |

## 地理 A

問 4 次の写真 1 中のカ～クは、下の図 3 中の A～C のいずれかの地点で撮影されたものである。カ～クと A～C との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

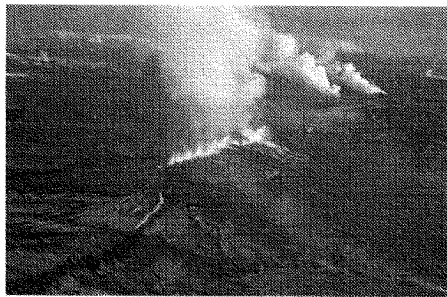
4



カ



キ



ク

写真 1

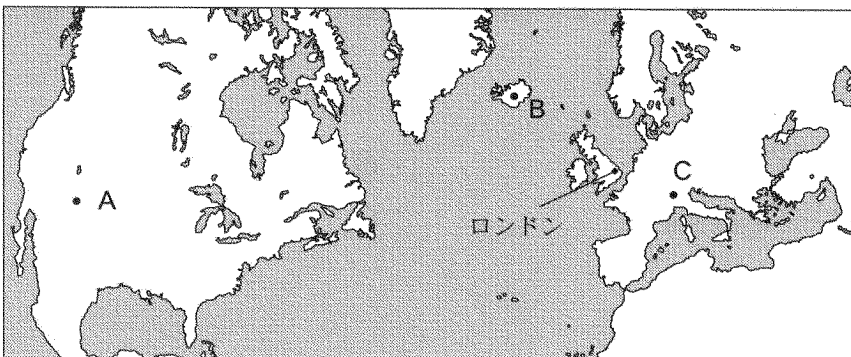


図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	A	A	B	B	C	C
キ	B	C	A	C	A	B
ク	C	B	C	A	B	A

問 5 図 3 中のロンドンは、偏西風の影響を受け、気温の年較差が小さく降水量の季節変化も小さい。ロンドンと同じ気候の特徴がみられる地域として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 5

- |                          |                         |
|--------------------------|-------------------------|
| ① カリフォルニア半島<br>③ 日本の太平洋側 | ② ナイル川河口部<br>④ ニュージーランド |
|--------------------------|-------------------------|

## 地理 A

問 6 次の表 2 は、アラビア語、英語、スペイン語、フランス語について、それらが主な言語として用いられている国の数を地域別に集計したものであり、P～R は、アラビア語、スペイン語、フランス語のいずれかである。P～R と言語名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

表 2

	英語	P	Q	R
アジア	10	12	0	1
アフリカ	21	13	1	26
ヨーロッパ	3	0	2	6
北・中央アメリカ	13	0	11	2
南アメリカ	2	0	9	0
オセアニア	14	0	0	1

トルコはアジアに含めた。CIS(独立国家共同体)については、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバ、ロシアをヨーロッパに含めた。

『世界年鑑 2003 年』により作成。

	P	Q	R
①	アラビア語	スペイン語	フランス語
②	アラビア語	フランス語	スペイン語
③	スペイン語	アラビア語	フランス語
④	スペイン語	フランス語	アラビア語
⑤	フランス語	アラビア語	スペイン語
⑥	フランス語	スペイン語	アラビア語

問 7 GIS(地理情報システム)を使用すると、様々な地理情報を整理・分析し、地図に表現することができる。GIS の活用方法を述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 

7
---

- ① 国勢調査の人口データを用いて、人口分布図を作成する。
- ② 交通量調査と道路ネットワークの情報から、交通渋滞の発生を予測する。
- ③ 地震の震源分布データを用いて、住宅の耐震強度を測定する。
- ④ 消費者の買物行動のデータを用いて、商店の来店者数を予測する。

問 8 衛星画像は様々な用途に活用されている。衛星画像から読み取れることとして**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 

8
---

- ① 熱帯地域の植生分布
- ② 乾燥地域の地質
- ③ 都市部の地表面温度
- ④ 海溝周辺の海底地形



## 地理 A

**第 2 問** 近年は、日常生活の中でも世界との結びつきを実感する機会が多くなった。次の文章は、高校生のサオリさんの日記である。この日記を読み、現代世界の結びつきと交流に関する下の問い(問 1～7)に答えよ。(配点 21)

○月×日 今日、両親がハワイ旅行から帰ってきた。ハワイは多くの①観光客で混んでいたらしい。父が空港で撮った写真には、いろいろな国の②飛行機が写っていた。私も③海外旅行に行きたくなった。海外旅行のガイドブックを見ると、日本の都市も世界の都市と④姉妹都市交流をすすめていることが分かった。夜は、家族ですし屋に行った。母は、日本で食べる⑤魚の多くは外国から輸入されていると言っていた。地理の授業で⑥日本の食料輸入と自給率について勉強したことを思い出した。今日は、人や⑦物の国際的な動きをいろいろと考えさせられた。

問 1 下線部①に関して、次の表 1 中のア～ウは、アメリカ合衆国\*、カナダ、日本のいずれかの国から航空機を利用してハワイを訪れた観光客の総数、平均滞在日数、1人1日当たり観光消費額を示したものである。ア～ウと国名との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

9

\*ハワイ州を除く。

表 1

	観光客の総数 (万人)	平均滞在日数 (日)	1人1日当たり 観光消費額(ドル)
ア	407	10.4	150
イ	148	5.9	233
ウ	19	12.4	115

統計年次は 2002 年。

Hawaii Tourism Board の資料により作成。

	ア	イ	ウ
①	アメリカ合衆国	カナダ	日 本
②	アメリカ合衆国	日 本	カナダ
③	カナダ	アメリカ合衆国	日 本
④	カナダ	日 本	アメリカ合衆国
⑤	日 本	アメリカ合衆国	カナダ
⑥	日 本	カナダ	アメリカ合衆国

問 2 下線部⑥に関して、次の表 2 は、航空旅客輸送量と航空貨物輸送量を国際、国内別に示したものであり、①～④は、アメリカ合衆国、タイ、中国\*、日本のいずれかである。タイに該当するものを、表 2 中の①～④のうちから一つ選べ。

10

\*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

表 2

	航空旅客輸送量(百万人 km)		航空貨物輸送量(百万トン km)	
	国 際	国 内	国 際	国 内
①	263,667	775,288	18,612	16,513
②	73,610	73,246	7,503	778
③	41,910	3,539	1,732	32
④	24,346	100,245	4,045	2,340

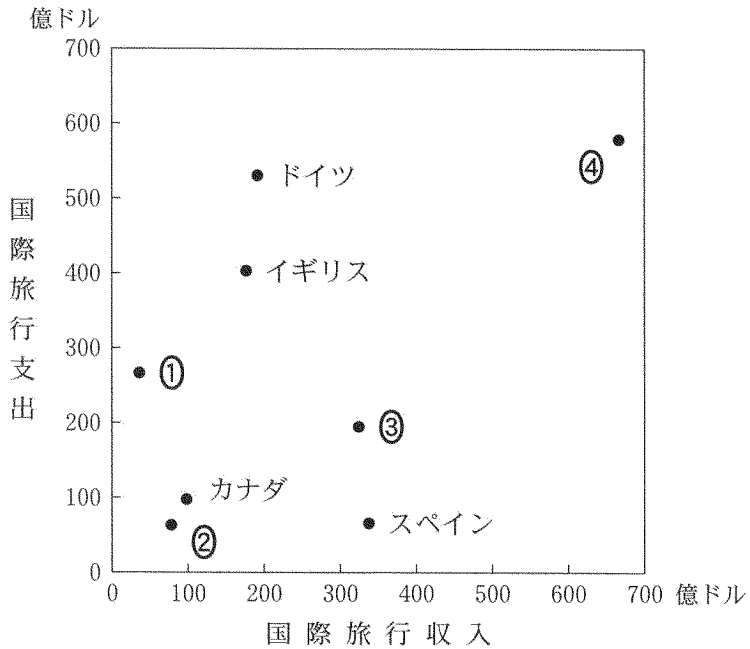
統計年次は 2003 年。

『航空統計要覧』により作成。

## 地理 A

問 3 下線部㉔に関して、多くの海外旅行者が訪れる国では、国際旅行収入が多い。次の図 1 は、いくつかの国の国際旅行収入と国際旅行支出との関係を示したものであり、①～④は、アメリカ合衆国、スイス、日本、フランスのいずれかである。日本に該当するものを、図 1 中の①～④のうちから一つ選べ。

11



統計年次は 2002 年。  
『観光白書』により作成。

図 1

問 4 下線部①に関して、世界の都市では様々な理由から相互に姉妹都市の提携を結んでいる。次の表 3 は、日本の都市と姉妹都市提携をしている都市と、その主な提携理由を示したものであり、A～Cは、イスタンブール、デトロイト、ミュンヘンのいずれかである。A～Cと都市名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 12

表 3

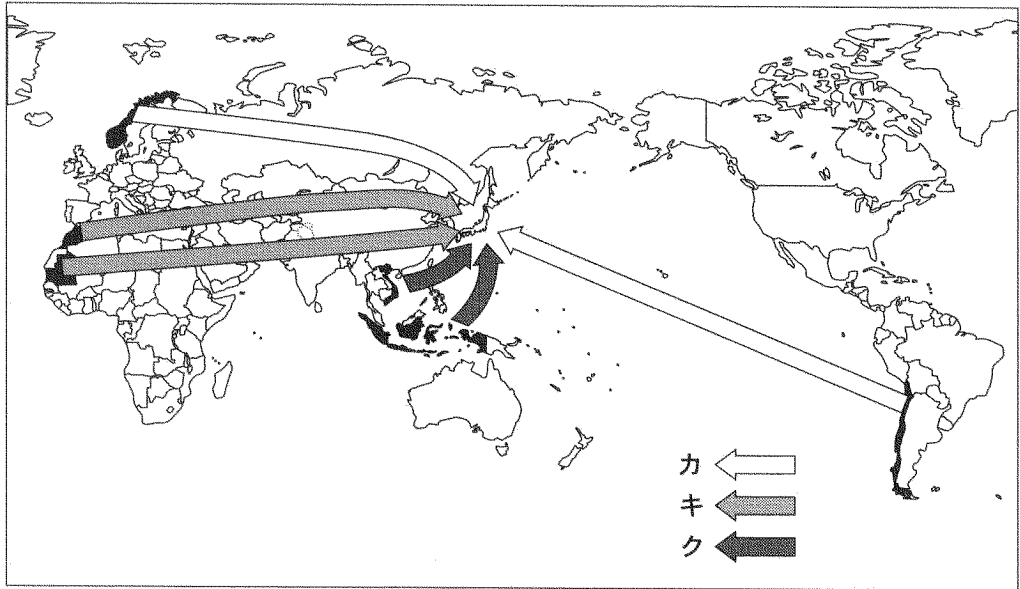
日本の都市名	提携先の都市名	主な提携理由
札幌	A	オリンピック大会の開催都市
下関	B	海峡に面した歴史ある都市
豊田	C	自動車産業が主要産業の都市

自治体国際化協会の資料により作成。

	A	B	C
①	イスタンブール	デトロイト	ミュンヘン
②	イスタンブール	ミュンヘン	デトロイト
③	デトロイト	イスタンブール	ミュンヘン
④	デトロイト	ミュンヘン	イスタンブール
⑤	ミュンヘン	イスタンブール	デトロイト
⑥	ミュンヘン	デトロイト	イスタンブール

地理 A

問 5 下線部㉔に関して、日本は様々な国から魚介類を輸入している。次の図 2 中のカ～クの矢印は、エビ、サケ・マス、タコのいずれかの魚介類について、日本への輸出量上位 2 か国からの流れを示したものである。カ～クと魚介類名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 13



統計年次は 2003 年。

『アグロトレード・ハンドブック』により作成。

図 2

	カ	キ	ク
①	エビ	サケ・マス	タコ
②	エビ	タコ	サケ・マス
③	サケ・マス	エビ	タコ
④	サケ・マス	タコ	エビ
⑤	タコ	エビ	サケ・マス
⑥	タコ	サケ・マス	エビ

問 6 下線部㉑に関して、日本における食料輸入と自給率の特徴について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① 果実は、オレンジやオレンジジュースの輸入が自由化されたため、自給率は低下している。
- ② カボチャは、輸送・貯蔵技術の向上などにより輸入が増えたため、自給率は大幅に低下している。
- ③ 鶏卵は、航空機を利用することで鮮度を保った輸入が容易になったため、自給率が低下している。
- ④ 小麦は、以前からアメリカ合衆国やカナダなどからの輸入が多いため、自給率は低い状態が続いている。

問 7 下線部㉒に関して、現代では、貿易による国々の結びつきが重要になっている。貿易について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 15

- ① 垂直貿易とは、北半球の先進国が食料や工業原料を輸出し、南半球の発展途上国が工業製品を輸出する貿易である。
- ② 水平貿易とは、隣接した発展途上国の間で、食料や工業原料などを相互に輸出入する貿易である。
- ③ フェアトレードとは、先進国が発展途上国の農産加工品などを適正な価格で直接購入することで、現地の人々の生活水準の向上をめざす貿易である。
- ④ 保護貿易とは、輸入する側の国が国民の食生活の安全を確保するために、安全基準を満たした食品のみを輸入する貿易である。

地理A

第3問 次の図1を見て、日本の近隣諸国の自然と人間活動に関する下の問い(問1～7)に答えよ。(配点 21)

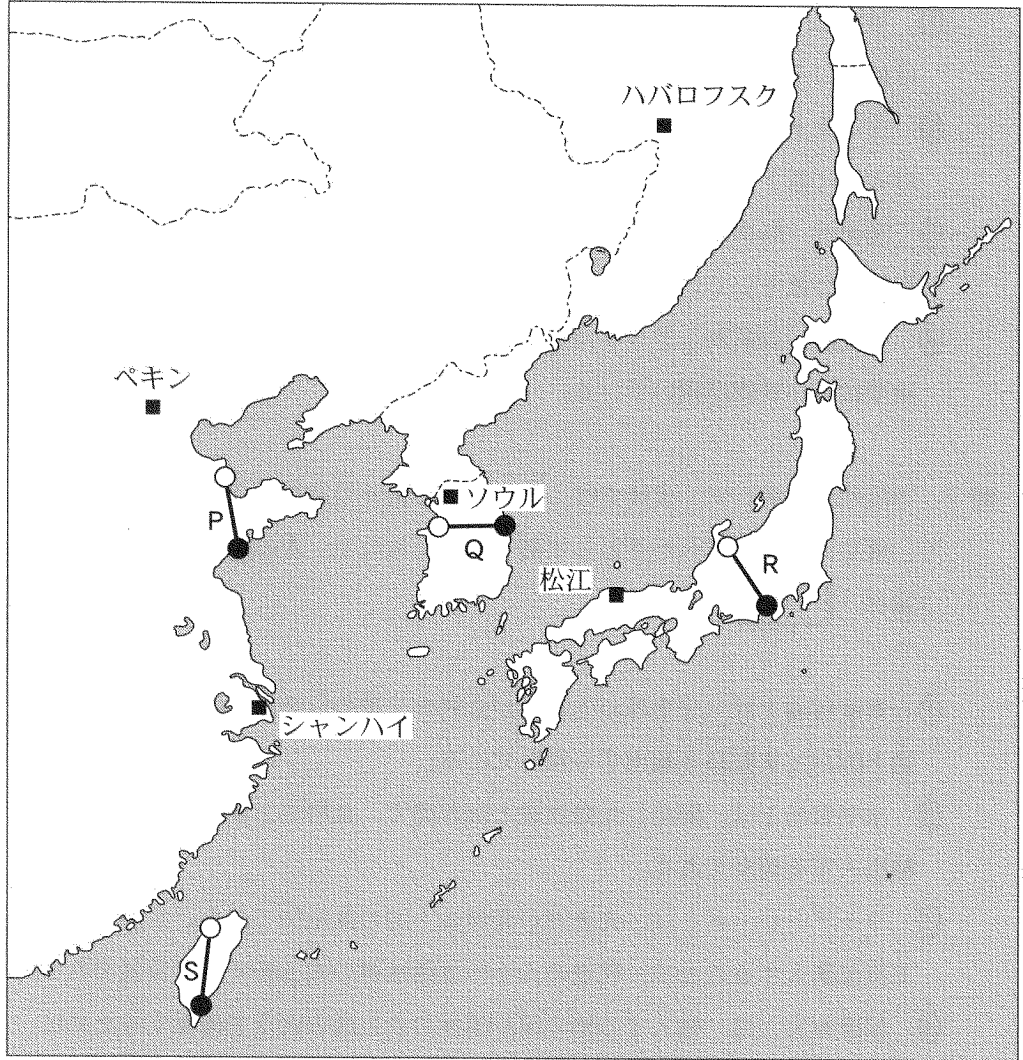
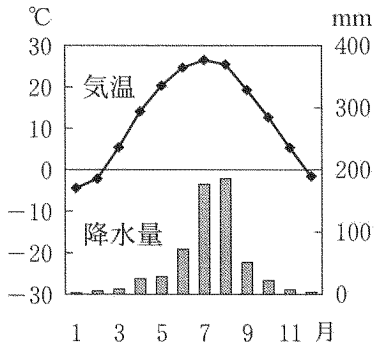
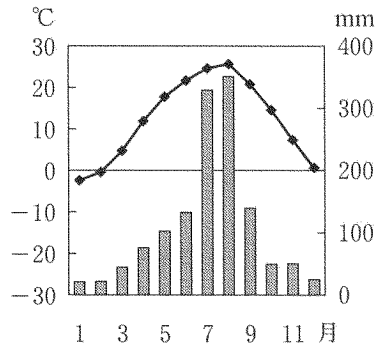


図 1

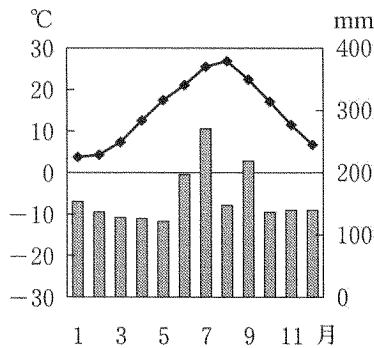
問 1 次の図 2 中の①～④は、図 1 中のソウル、ハバロフスク、ペキン、松江のいずれかの都市における、月平均気温と月降水量を示したものである。ペキンに該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。 16



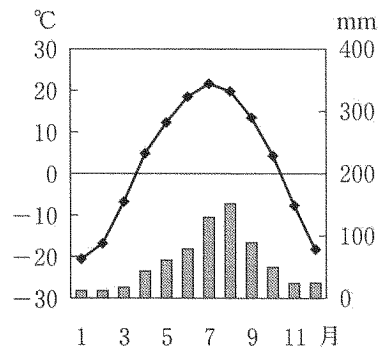
①



②



③



④

『理科年表』により作成。

図 2



地理 A

問 2 次の図 3 中の①～④は、図 1 中の P～S のいずれかの線に沿った地形断面図を示したものである。Q に該当するものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。ただし、図 3 中の○印、●印は、図 1 中の○印、●印に対応し、高さは水平距離に対して約 15 倍で表現してある。 17

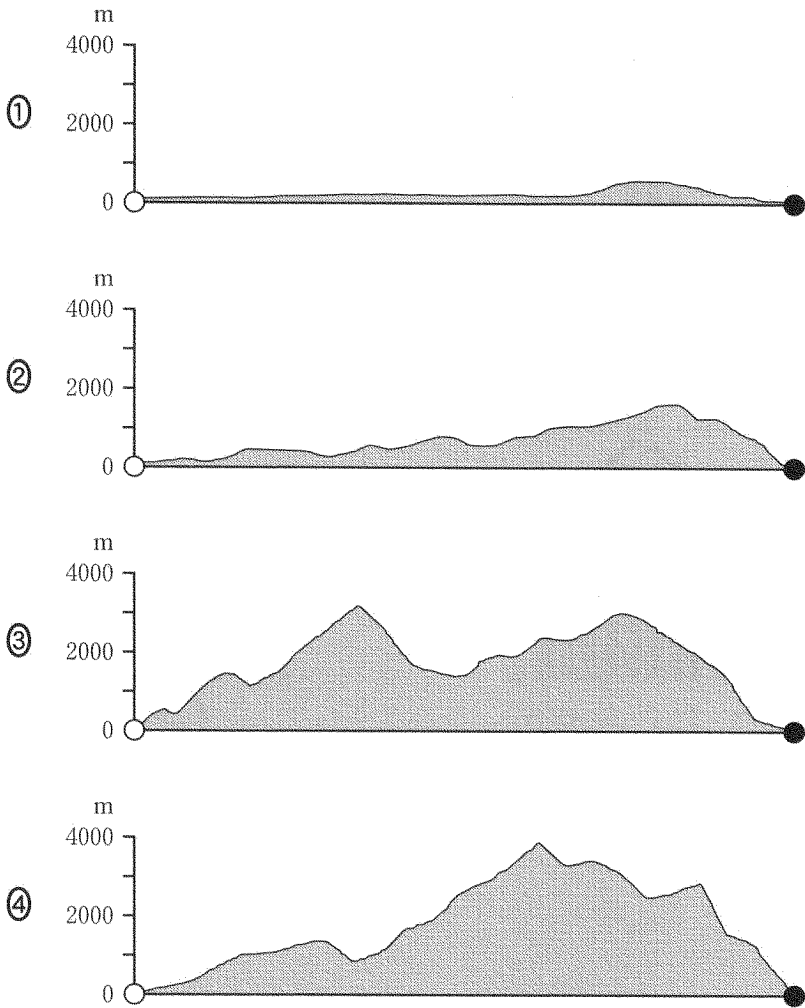


図 3

問 3 大都市周辺部では近郊農業がみられるが、それ以外にも自然条件をいかし、その地域に特徴的な農業が営まれている。次のア～ウの文は、図 1 中のシャンハイ、ソウル、ペキンの周辺の地域における農業の特徴について述べたものである。ア～ウと地域名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

18

- ア この都市周辺の地域では、稲作や茶栽培などを中心とした農業が営まれている。
- イ この都市周辺の地域では、山間部では畑作を中心とした農業が営まれており、平野部では稲作が盛んである。
- ウ この都市周辺の地域では、小麦や大豆、コウリャンなどの畑作を中心とした農業が営まれている。

	ア	イ	ウ
①	シャンハイ	ソウル	ペキン
②	シャンハイ	ペキン	ソウル
③	ソウル	シャンハイ	ペキン
④	ソウル	ペキン	シャンハイ
⑤	ペキン	シャンハイ	ソウル
⑥	ペキン	ソウル	シャンハイ

## 地理 A

- 問 4 次のカ～クの文章は、韓国(大韓民国)、極東ロシア、モンゴルの特徴的な食文化について述べたものである。カ～クと国・地域名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 19

カ 伝統的な料理には、家畜の乳からつくられるチーズなどの乳製品や羊肉のスープがあり、野菜を食べることは少ない。味付けには、塩のみが用いられる場合が多い。

キ 伝統的には肉や魚の料理が多かったが、小麦粉を練った薄皮に肉などを詰めて油で揚げた料理や、かゆなどが徐々に加わってきている。魚を用いた料理としては、ニシンの塩漬けや、サケの酢漬けなどがある。

ク 伝統的な料理には、野菜に香辛料や海産物を加えて発酵させた漬物がある。この漬物は、冬には新鮮な野菜がとれないため、冬場の保存食としても重要である。

	カ	キ	ク
①	韓国	極東ロシア	モンゴル
②	韓国	モンゴル	極東ロシア
③	極東ロシア	韓国	モンゴル
④	極東ロシア	モンゴル	韓国
⑤	モンゴル	韓国	極東ロシア
⑥	モンゴル	極東ロシア	韓国

問 5 次の表 1 中の①～④は、1997 年と 2002 年における携帯電話、乗用車、パーソナルコンピュータ、冷蔵庫のいずれかの工業製品の生産台数について、世界に占める韓国、中国\*、日本の割合を示したものである。携帯電話に該当するものを、表 1 中の①～④のうちから一つ選べ。 20

\*台湾とホンコンを含まない。

表 1

(単位：%)

	①		②		③		④	
	1997 年	2002 年	1997 年	2002 年	1997 年	2002 年	1997 年	2002 年
韓国	2.8	6.8	5.9	6.4	6.4	7.8	7.3	22.2
中国	5.0	44.7	1.2	2.7	15.7	20.4	4.9	26.3
日本	10.6	4.4	21.7	20.8	8.1	4.2	21.4	10.5

『世界国勢図会』により作成。

## 地理 A

問 6 次の表 2 は、日本の近隣諸国における、国土面積に占める農地\*の割合、国内総生産に占める鉱工業部門の割合、都市人口率、老年人口率を国・地域別に示したものであり、表 2 中の①～④は、韓国、中国\*\*、日本、モンゴルのいずれかである。中国に該当するものを、表 2 中の①～④のうちから一つ選べ。

21

\*耕地、樹園地、牧場および牧草地を指す。

\*\*国内総生産に占める鉱工業部門の割合、都市人口率、老年人口率の数値には台湾、ホンコン、マカオを含まない。

表 2

(単位：%)

	①	②	③	④
農地の割合	83.3	57.7	19.5	13.7
鉱工業部門の割合	21.3	45.3	23.7	21.0
都市人口率	56.7	38.6	80.3	65.4
老年人口率	3.9	7.3	7.9	19.0

統計年次は、国土面積に占める農地の割合が 2002 年。国内総生産に占める鉱工業部門の割合が 2003 年(モンゴルは 2001 年)。都市人口率が 2003 年。老年人口率が 2002 年(日本は 2003 年)。

『世界国勢図会』などにより作成。

問 7 次の表 3 は、日本の近隣諸国間の貿易額を示しており、①～④は、韓国、北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)、モンゴル、ロシアのいずれかである。モンゴルに該当するものを、表 3 中の①～④のうちから一つ選べ。 22

表 3

(単位：百万ドル)

		輸 入 国					
		日 本	中 国*	①	②	③	④
輸 出 国	日 本	—	41,512	31,828	572	207	73
	中 国*	55,130	—	12,799	948	451	126
	①	20,457	23,207	—	359	273	56
	②	4,582	5,770	2,058	—	43	206
	③	257	37	15	8	—	0
	④	10	212	2	40	0	—

\*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

統計年次は 2000 年。

『北東アジア経済白書 2003』により作成。

地理 A

第 4 問 地球的課題と国際協力に関する次の問い(問 1～7)に答えよ。(配点 21)

問 1 人口問題は、経済発展の程度に関連して、国ごとに課題が大きく異なっている。次の表 1 は、いくつかの国における出生率と死亡率を示したものであり、ア～ウは、イタリア、ブルネイ、モザンビークのいずれかである。ア～ウと国名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 23

表 1

	出生率(%)	死亡率(%)
ア	42.7	18.8
イ	22.1	2.9
ウ	9.4	9.7
日 本	8.9	8.0

統計年次は、イタリアとブルネイが 2000 年、日本が 2003 年、モザンビークが 2001 年。

『世界国勢図会』により作成。

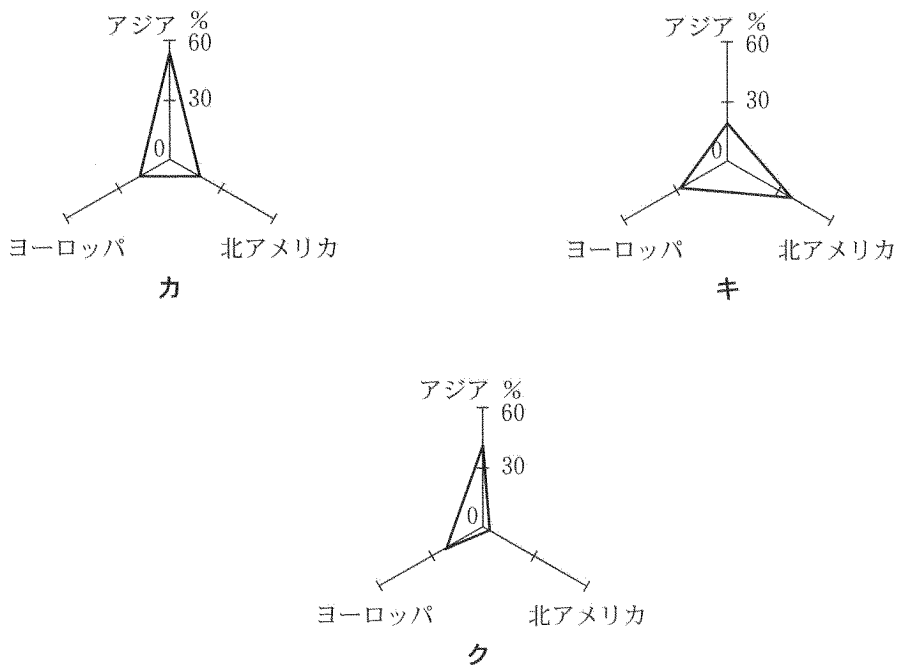
	ア	イ	ウ
①	イタリア	ブルネイ	モザンビーク
②	イタリア	モザンビーク	ブルネイ
③	ブルネイ	イタリア	モザンビーク
④	ブルネイ	モザンビーク	イタリア
⑤	モザンビーク	イタリア	ブルネイ
⑥	モザンビーク	ブルネイ	イタリア

問 2 地球的課題の一つに、食料需給の地域差がある。次の図 1 は、アジア\*、北アメリカ\*\*、ヨーロッパ\*\*\*のそれぞれの地域について、主要穀物\*\*\*\*の生産量と輸出入量\*\*\*\*\*の世界の総量に対する割合を示したものであり、カ〜クは、生産量、輸出力、輸入量のいずれかの指標である。カ〜クと指標との正しい組合せを、下の①〜⑥のうちから一つ選べ。 24

\*トルコを含む。 \*\*メキシコを除く。

\*\*\*CIS(独立国家共同体)のうち、ウクライナ、ベラルーシ、モルドバ、ロシアを含む。

\*\*\*\*小麦、米、トウモロコシの合計。 \*\*\*\*\*地域内貿易を含む。



統計年次は 2002 年。FAO の資料により作成。

図 1

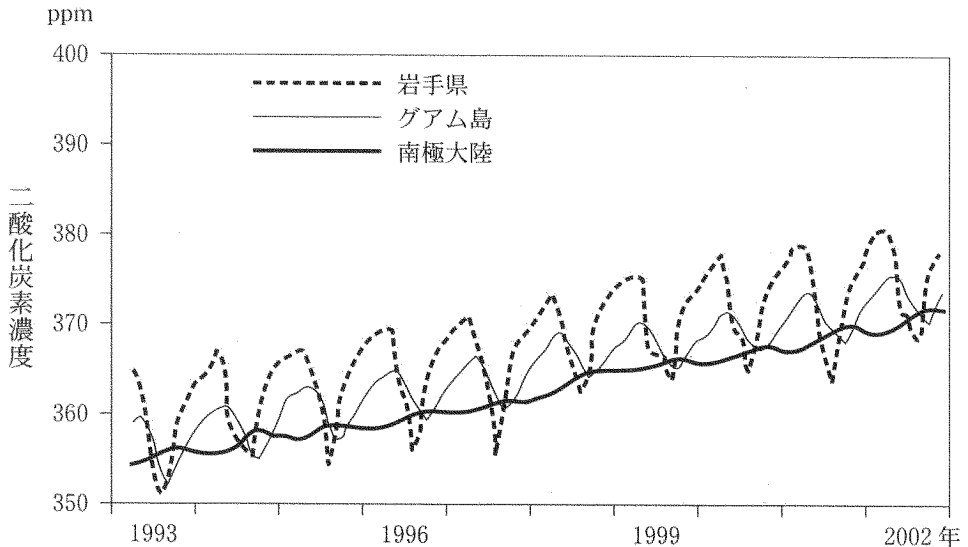
	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	生産量	生産量	輸出力	輸出力	輸入量	輸入量
キ	輸出力	輸入量	生産量	輸入量	生産量	輸出力
ク	輸入量	輸出力	輸入量	生産量	輸出力	生産量



## 地理 A

問 3 次の図 2 は、地球温暖化への影響が大きいと考えられる二酸化炭素について、岩手県、グアム島、南極大陸での 1993 年 4 月から 2002 年 12 月までの月別の濃度変化を示したものである。図 2 に関することがらについて述べた文として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

25



温室効果ガス世界資料センターの資料により作成。

図 2

- ① 岩手県でみられる季節変化は、日本や中国の産業活動の影響でグアム島より大きい。
- ② グアム島でみられる季節変化は、発展途上国での焼畑農業の影響である。
- ③ 南極大陸では、植生がほとんどないことにより季節変化の程度は小さい。
- ④ 各地での長期的な濃度の上昇は、人間による森林破壊が第一の要因である。

問 4 次の写真 1 は、スカンディナヴィア半島における環境破壊への対応策を示したものである。この環境破壊の原因として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

26



ヘリコプターによる湖への石灰の散布

写真 1

- ① 化石燃料の大量消費
- ② 原子力発電所の事故
- ③ 産業廃棄物の不法投棄
- ④ フロンガスの放出

## 地理 A

問 5 地球的課題であるエネルギー問題には、石油の枯<sup>こ</sup>渴<sup>かつ</sup>と石油にかわる資源の開発が含まれる。次のサ～スの文章は、石油にかわるエネルギー資源である、ウラン、石炭、天然ガスのいずれかについて述べたものである。サ～スと資源名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 

27
----

サ 中国とアメリカ合衆国の2か国で世界の約6割を産出する。埋蔵量は豊富で、分布の地域的な偏りも小さいので、今後も発電用に需要の増大が見込まれている。

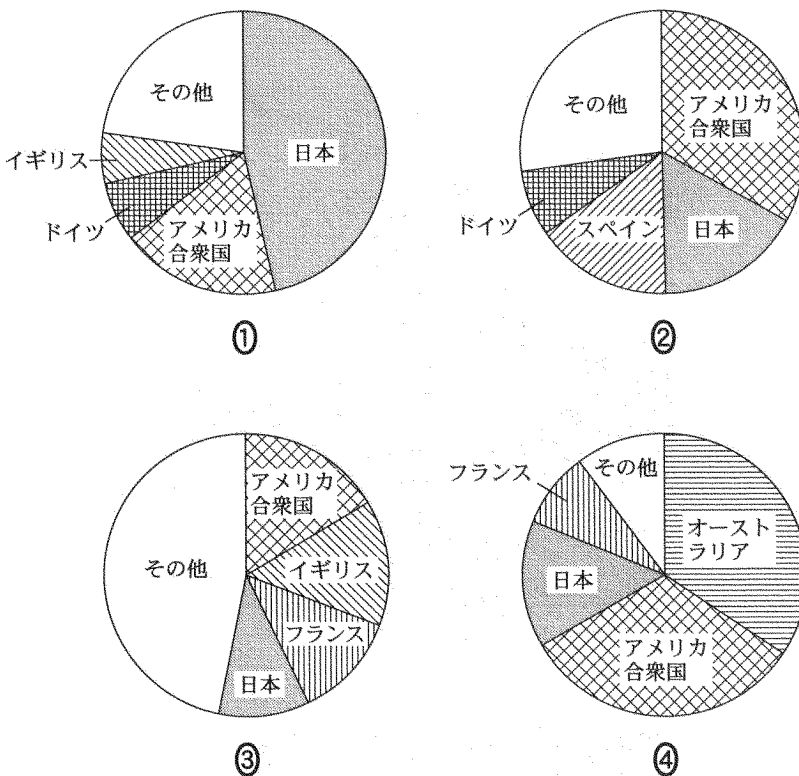
シ ロシアとアメリカ合衆国の2か国で世界の約4割を産出する。利用には新たな施設の整備が必要なため普及は限られていたが、今後は需要の増大が予想される。

ス カナダとオーストラリアの2か国で世界の約5割を産出する。発電に用いるには特殊な加工が必要であるが、世界でこの資源による発電量は総発電量の約17%を占めている。

	サ	シ	ス
①	ウラン	石炭	天然ガス
②	ウラン	天然ガス	石炭
③	石炭	ウラン	天然ガス
④	石炭	天然ガス	ウラン
⑤	天然ガス	ウラン	石炭
⑥	天然ガス	石炭	ウラン

問 6 地球的課題の解決のためには資金援助が必要であるが、主要援助国の ODA (政府開発援助) の相手先には地域差がみられる。次の図 3 は、地域別の ODA の援助額実績を、援助元である DAC (開発援助委員会) 主要国の割合で示したものであり、①～④は、アジア、アフリカ、オセアニア、ラテンアメリカのいずれかである。ラテンアメリカに該当するものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。

28



統計年次は 2001 年。  
『ODA 政府開発援助白書 CD-ROM』により作成。

図 3

## 地理 A

問 7 日本の国際協力の一つに、人類の共通の遺産である文化財の保護がある。次の図 4 中の W～Z は、日本がユネスコを通じて保存・修復事業を行った有形文化遺産の地点を示したものであり、下の①～④の文は、W～Zのいずれかの文化遺産とその修復事業について述べたものである。Xに該当するものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

29

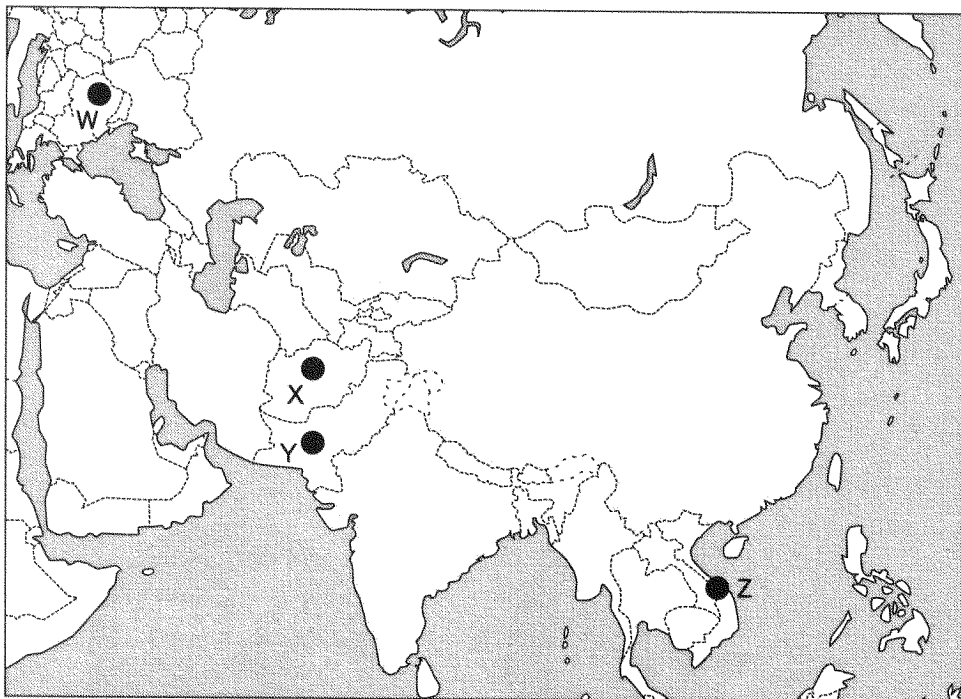


図 4

- ① 約 4000 年前に栄えた、基盤目状街路や排水施設を備えた都市の遺跡の修復のために、人材養成や研究施設の設備改善などの協力が行われてきた。
- ② 6～7 世紀の仏教文化の繁栄を示す壁画や大仏は、その後、何度も破壊され多くが失われたが、残された遺物の保存・修復作業がすすめられてきた。
- ③ 16 世紀に建設された宗教施設では、1989 年末から 1990 年代にかけての政治体制の変革の後、壁画修復や建物の耐震補強が本格的に行われてきた。
- ④ 19 世紀に築かれた王宮は、この地域で 1950 年代にはじまり約 20 年間続いた戦争により多くの被害を受けたが、その修復と保存がすすめられてきた。

(下書き用紙)

地理 A の試験問題は次に続く。

## 地理 A

**第5問** カナさんは、青森県八戸市を中心とする地域の自然や人間活動にかかわる調査を行うことにした。次の図1を見て、この調査に関する下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 21)

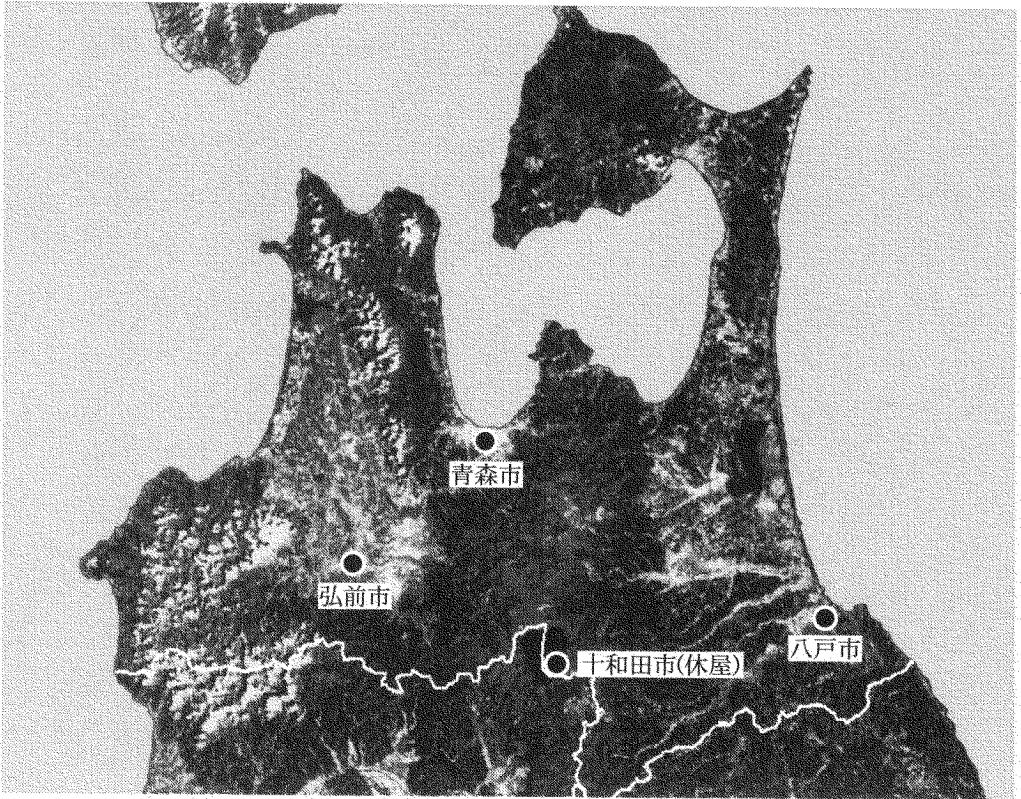
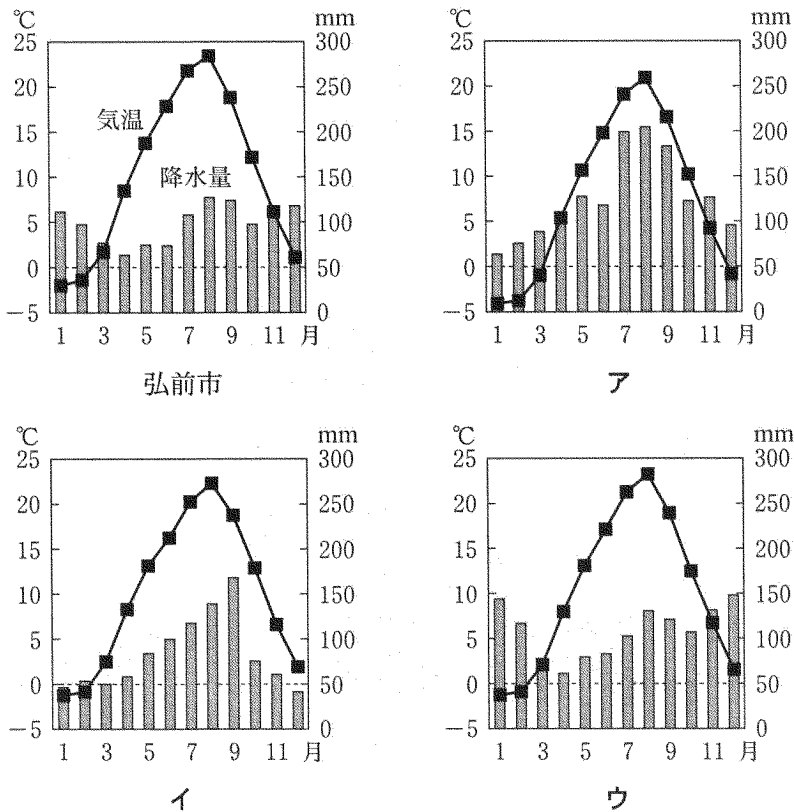


図 1

問 1 カナさんは、八戸市の気候の特徴を調べるため、青森市、十和田市(休屋<sup>やすみや</sup>)、弘前市と比較してみた。次の図 2 は、これら 4 地点の月平均気温と月降水量を示したものであり、ア～ウは、青森市、十和田市、八戸市のいずれかである。ア～ウと地点名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

30



気象庁の資料により作成。

図 2

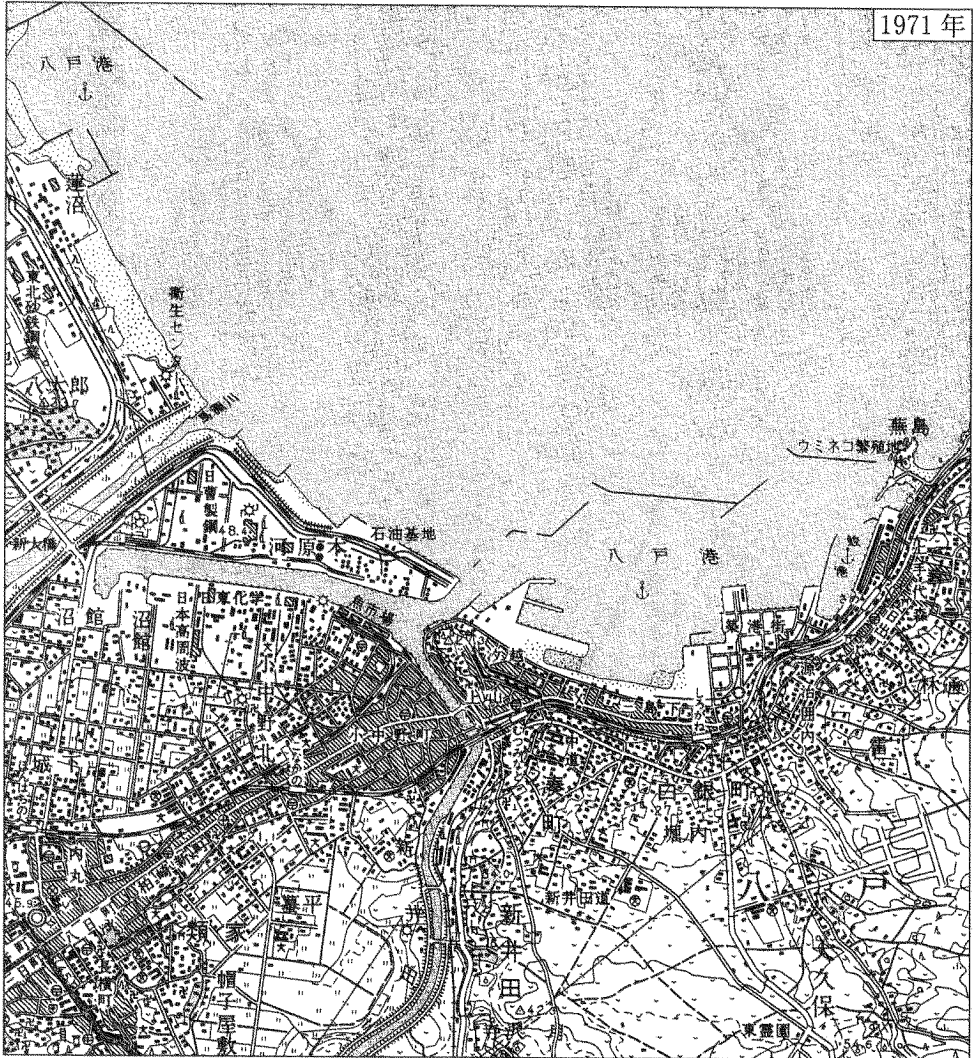
	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	青森市	青森市	十和田市	十和田市	八戸市	八戸市
イ	十和田市	八戸市	青森市	八戸市	青森市	十和田市
ウ	八戸市	十和田市	八戸市	青森市	十和田市	青森市



## 地理A

問 2 カナさんは、八戸市の市街地とその周辺地域における土地利用の変化を調べるため、新旧の地形図を比較した。次の図3は、1971年と2003年に発行された5万分の1地形図(原寸、一部改変)である。図3から読み取れることを述べた文として適当でないものを、次ページの①～⑦のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。

31 ・ 32



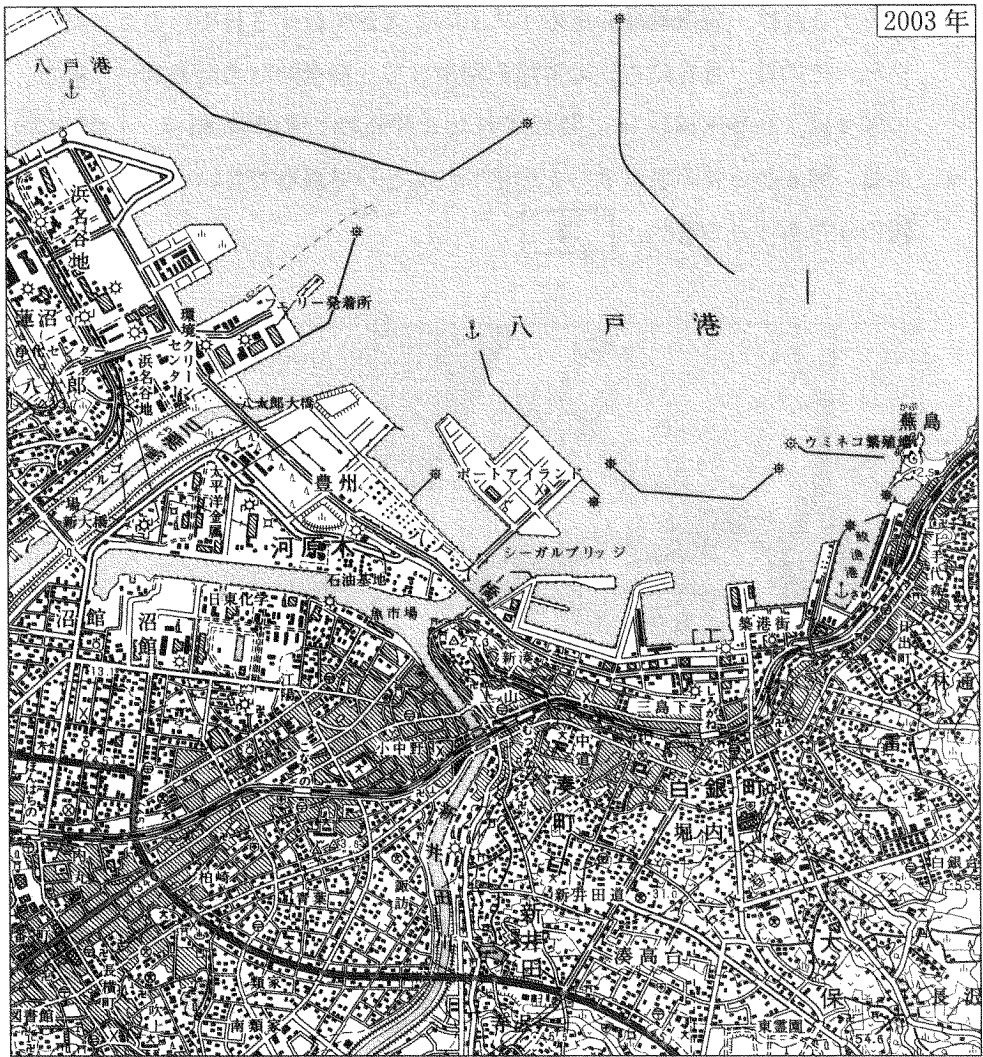


図 3

- ① 馬淵川の護岸工事がすすみ、河川敷にゴルフ場ができた。
- ② 図の北西部の砂浜海岸は、大規模に開発され、工場が建設された。
- ③ 図の中央部の魚市場へは、引き込み線路があったが廃止された。
- ④ 図の南部の新井田川左岸に広がっていた水田は、畑に転換された。
- ⑤ 図の南東部の畑が広がっていた地域には、住宅地が造成された。
- ⑥ 八戸港の整備がすすみ、航行の安全のために、多くの灯台が設置された。
- ⑦ 海上にポートアイランドが建設され、対岸とは道路と鉄道で結ばれた。

## 地理A

問 3 カナさんは、調査地域の地形が人工的に大きく改変されていることに気がついた。そこで、さらに古い地形図を利用して、特徴的な地形を調べてみた。次の図4は、1916・1917年に発行された5万分の1地形図(原寸、一部改変)である。図4から読み取れることを述べた文として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

33

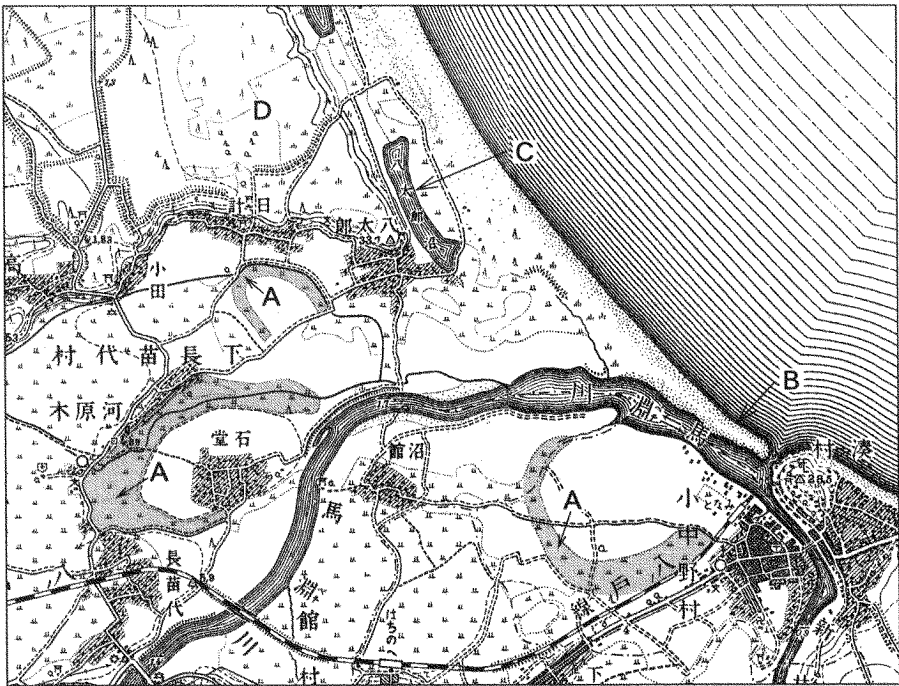
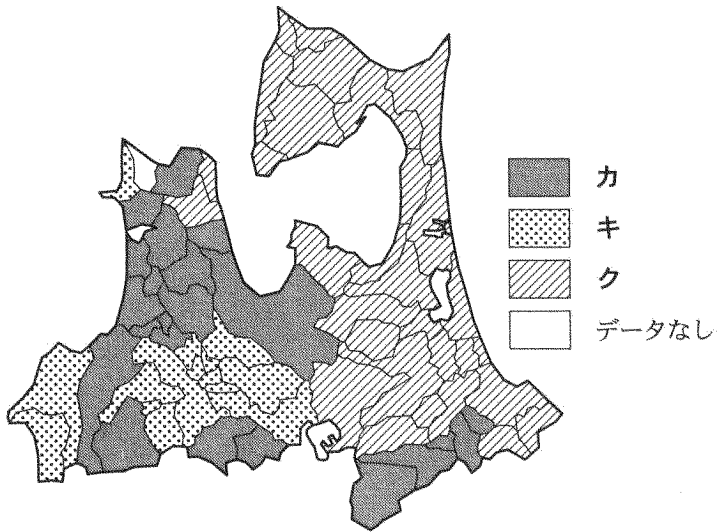


図 4

- ① 三日月形に縁どられた水田Aは、かつて馬淵川が流れていた跡である。
- ② 馬淵川の河口部において、河口をふさぐように発達した細長い地形Bは砂州である。
- ③ 北部にみられる沼Cは、かつて馬淵川に合流していた河川の名残である。
- ④ 北部にみられる海岸線より一段高い<sup>へいたん</sup>平坦な地形Dは、海岸段丘面である。

問 4 カナさんは、八戸市の農業で稲作が重要であることを知り、統計資料を調べてみた。次の図 5 は、収穫量が平年並だった 2004 年の値を基準として、冷害の被害が大きかった 2003 年の収穫量を示したものであり、カ～クは、収穫量が高、中、低のいずれかである。カ～クと収穫量との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 34



青森県の資料などにより作成。

図 5

	①	②	③	④	⑤	⑥
カ	高	高	中	中	低	低
キ	中	低	高	低	高	中
ク	低	中	低	高	中	高

## 地理 A

問 5 カナさんは、八戸港が国内の重要な漁港であることを知り、八戸港の特徴を調べるために、水産物の水揚量について他の漁港と比べてみた。次の表 1 は、イカ類、イワシ類、カツオ類、サケ・マス類、タラ類の水揚量についてまとめたものであり、サ～スは、釧路港、銚子港、八戸港のいずれかである。サ～スと漁港名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

35

表 1

(単位：トン)

	イカ類	イワシ類	カツオ類	サケ・マス類	タラ類
サ	912	111,909	4,291	2	5
シ	3,045	32,064	4	3,501	69,335
ス	108,071	5,036	12	3,098	7,757

統計年次は 2004 年。

『水産物流通統計年報』により作成。

	サ	シ	ス
①	釧路港	銚子港	八戸港
②	釧路港	八戸港	銚子港
③	銚子港	釧路港	八戸港
④	銚子港	八戸港	釧路港
⑤	八戸港	釧路港	銚子港
⑥	八戸港	銚子港	釧路港

問 6 カナさんは、八戸港が漁港であるだけでなく、東北地方の重要な貿易港であることを知った。そこで、八戸港で輸入される品目の中から、トウモロコシ、ニッケル鉱および木材について、その輸入元の国・地域を次の表 2 にまとめた。表 2 中の X～Z は、カナダ、中国、ニューカレドニアのいずれかである。X～Z と国・地域名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

36

表 2

順位	トウモロコシ	ニッケル鉱	木 材
1	アメリカ合衆国	Y	Z
2	X	フィリピン	アメリカ
3	—	インドネシア	オーストラリア
4	—	—	X

表中の—は該当国なし。  
八戸市の資料により作成。

	X	Y	Z
①	カナダ	中 国	ニューカレドニア
②	カナダ	ニューカレドニア	中 国
③	中 国	カナダ	ニューカレドニア
④	中 国	ニューカレドニア	カナダ
⑤	ニューカレドニア	中 国	カナダ
⑥	ニューカレドニア	カナダ	中 国